(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3654601号
(P3654601)
(45)発行日　平成17年6月2日(2005.6.2)　(24)登録日　平成17年3月11日(2005.3.11)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A63F 7/02　A63F 7/02 326D
A63F 7/02 304D
A63F 7/02 334

請求項の数 1　(全 26 頁)

(21)出願番号　特願平6-312512
(22)出願日　平成6年11月21日(1994.11.21)
(65)公開番号　特開平8-141142
(43)公開日　平成8年6月4日(1996.6.4)
審査請求日　平成13年5月11日(2001.5.11)

(73)特許権者　000132747
株式会社ソフィア
群馬県桐生市境野町７丁目２０１番地
(74)代理人　100096699
弁理士　鹿嶋　英實
(72)発明者　新山　吉平
群馬県桐生市広沢町３－４２９７－１３
(72)発明者　伊東　広司
群馬県桐生市三吉町２－２－２９

審査官　飯野　茂

(56)参考文献　特開平０６－１９８０５３（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－０６８７３７（ＪＰ，Ａ）
実開昭６３－００８０８０（ＪＰ，Ｕ）
最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技機

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
前面枠に開閉可能に取り付けられ、透明板を保持する保持枠と、前記保持枠の下側に位置し、前記前面枠に開閉可能に取り付けられるパネルベース盤と、を備え、前記透明板を介して遊技領域を視認可能とした遊技機において、
前記遊技領域を囲むように中央開口部が形成され、前記保持枠の前面側を覆う合成樹脂製の取付ベース盤と、
前記取付ベース盤における前記中央開口部の縁部に沿った状態で配置される縁部装飾体と、
前記取付ベース盤の上方部に備えられ、膨出形状に形成された電気的表示手段と、
を有する装飾枠を前記保持枠の前面に配設するとともに、
前記装飾枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁には、前記保持枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁よりも外側に延在させた延在部を形成し、
前記前面枠には、
前記保持枠を開閉可能に支持する開閉機構部と、
当該前面枠の前面と前記延在部の裏面との間に配設されるスペーサーと、
を備え、前記延在部の裏面と前記スペーサーの表面との接合面には、相互に噛み合う凹凸部が形成され、
前記スペーサーの凹凸部を構成する段部表面を、傾斜した形状とすることで前記保持枠を閉めるときのガイドを形成し、

前記パネルベース盤には、
当該パネルベース盤の前面に合成樹脂で形成されたパネル装飾体を配設し、前記延在部の裏面と前記パネル装飾体の表面との接合面には、相互に噛み合う断面三角形状の凹凸部を形成し、
前記開閉機構部には、前記保持枠を前面枠から着脱するための着脱手段を備え、
該着脱手段は、
前記保持枠を開閉可能に支持する支軸と、該支軸をスライド可能に収納する支軸収納部と、前記支軸を前記支軸収納部に収納する方向に付勢するスプリングと、を有する着脱機構部と、
該着脱機構部を操作する操作部と、を備え、
前記保持枠を閉じると前記操作部が切り欠きに納められ、該操作部が移動しないようにロックされることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】

本発明は、遊技機に係わり、詳しくは遊技機の前面枠に透明板を保持する保持枠（例えば、ガラス枠）のさらに前面に合成樹脂製の装飾枠を設けるとともに、この装飾枠の端縁に前記保持枠の端縁よりも外側に延在させた延在部を設けることにより、遊技機前面の装飾効果の向上とともに、防犯性等の向上を図った遊技機に関する。

【０００２】

【従来の技術】

従来の遊技機は、前面（遊技盤の前面側）にガラス枠（保持枠）が配置され、このガラス枠の開口部からガラス板（透明板）を介して遊技盤上の遊技領域を前面側から視認可能な状態としている。すなわちこのガラス枠は、中央に四角い開口部を形成した額縁状の枠体によって構成され、この枠体にガラス板を保持する機能を持たせている。ガラス枠は金属製からなり、その裏面側に２枚のガラス板を保持可能な保持部が形成されている。またこのガラス枠は、前面枠の開口部の縁に釘により固定された縁飾り枠に形成された開閉軸受に固定されており、遊技機の前面側に遊技盤を覆う状態で開閉可能なように構成されている。なお、遊技盤表面にはバンド部材（例えば、内バンド、外バンド）や遊技盤の側部を装飾するサイドケースに形成された区画壁により遊技領域を形成し、発射装置から遊技球を遊技領域に向けて発射して、遊技を行っている。

【０００３】

そして、従来の遊技機の装飾（特に、電気的装飾）は、主に遊技盤側で行っており、ガラス枠の開口部から遊技盤における装飾表示が見える状態になっているだけであった。すなわち、従来の遊技機前面の装飾は、前面枠（ガラス枠を取付ける枠）上部のパイロットランプと、前面枠側部の鍵穴飾り程度であった。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

このため、従来の遊技機にあっては、装飾面等で、以下のような問題点があった。

（イ）前面枠の表面はスペースが狭いため、十分な装飾体を配設することができず、前面枠の表面に装飾体（例えば、電気的装飾部材）を設けることによっては、遊技機前面の装飾性をいま以上高めることが困難であった。

（ロ）従来のガラス枠は金属製であったため、装飾体を備えることや、形状を変更することが困難であり、やはり遊技機前面の装飾性を高めることが困難であった。

（ハ）従来のガラス枠の金属面が遊技機の表面の一部を構成することになっていたため、やはり装飾性を高めることができなかった。

（ニ）従来の遊技機の装飾表示は、主に遊技盤側で行っていたため、遊技機全体での装飾という点で、物足りないものであった。すなわち、遊技機前面の装飾効果が低かった。

【０００５】

（ホ）一方、幾分でも装飾効果を高めるために、例えばガラス枠を樹脂製にしてその形状

を変化させることも考えられるが、この場合には、防犯面で問題があり、ピアノ線の侵入の可能性があったり、強度が弱いという欠点があった。単に樹脂にするのみでは強度が十分に得られないことがあった。
（ヘ）ガラス枠を樹脂製にした場合、従来の遊技機との互換が難しいため、ガラス枠あるいは遊技機自体を新規に開発する必要があり、開発コストが上昇し、コスト面で不利であった。
（ト）またガラス枠が金属製であっても、ガラス枠端縁の隙間からピアノ線等を挿入される可能性があり、高い防犯性を確保できなかった。
（チ）さらにガラス枠端縁の隙間からゴミやホコリが機内に侵入し易く、機内がよごれ易いため、機内清掃を頻繁に行なう必要があるという問題もあった。

【０００６】
そこで本発明は、遊技機全体での装飾効果を高めることができるとともに、防塵性、防犯性及びコスト面等で十分良好な状態が確保できる遊技機を提供することを目的としている。

【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記目的達成のため、請求項１記載の発明による遊技機は、前面枠に開閉可能に取り付けられ、透明板を保持する保持枠と、前記保持枠の下側に位置し、前記前面枠に開閉可能に取り付けられるパネルベース盤と、を備え、前記透明板を介して遊技領域を視認可能とした遊技機において、
前記遊技領域を囲むように中央開口部が形成され、前記保持枠の前面側を覆う合成樹脂製の取付ベース盤と、
前記取付ベース盤における前記中央開口部の縁部に沿った状態で配置される縁部装飾体と、
前記取付ベース盤の上方部に備えられ、膨出形状に形成された電気的表示手段と、
を有する装飾枠を前記保持枠の前面に配設するとともに、
前記装飾枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁には、前記保持枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁よりも外側に延在させた延在部を形成し、
前記前面枠には、
前記保持枠を開閉可能に支持する開閉機構部と、
当該前面枠の前面と前記延在部の裏面との間に配設されるスペーサーと、
を備え、前記延在部の裏面と前記スペーサーの表面との接合面には、相互に噛み合う凹凸部が形成され、
前記スペーサーの凹凸部を構成する段部表面を、傾斜した形状とすることで前記保持枠を閉めるときのガイドを形成し、
前記パネルベース盤には、
当該パネルベース盤の前面に合成樹脂で形成されたパネル装飾体を配設し、前記延在部の裏面と前記パネル装飾体の表面との接合面には、相互に噛み合う断面三角形状の凹凸部を形成し、
前記開閉機構部には、前記保持枠を前面枠から着脱するための着脱手段を備え、
該着脱手段は、
前記保持枠を開閉可能に支持する支軸と、該支軸をスライド可能に収納する支軸収納部と、前記支軸を前記支軸収納部に収納する方向に付勢するスプリングと、を有する着脱機構部と、
該着脱機構部を操作する操作部と、を備え、
前記保持枠を閉じると前記操作部が切り欠きに納められ、該操作部が移動しないようにロックされることを特徴とする。

【０００９】
【作用】
本発明では、保持枠とパネルベース盤とが備えられ、保持枠（例えば、ガラス枠、以下

、この項で同様）の前面側に合成樹脂製で取り付けベース盤、縁部装飾体および電気的表示手段を有する装飾枠が配設され、この装飾枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁に、保持枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁よりも外側に延在させた延在部を形成し、前面枠には開閉機構部とスペーサーを備え、延在部の裏面とスペーサーの表面との接合面には、相互に噛み合う凹凸部が形成され、スペーサーの凹凸部を構成する段部表面を、傾斜した形状とすることで保持枠を閉めるときのガイドを形成し、パネルベース盤にはパネル装飾体を配設し、延在部の裏面とパネル装飾体の表面との接合面には、相互に噛み合う断面三角形状の凹凸部を形成し、開閉機構部には着脱手段を備え、着脱手段は着脱機構部と操作部とを備え、保持枠を閉じると操作部が切り欠きに納められ、該操作部が移動しないようにロックされる。

したがって、遊技機自体の装飾性を高めつつ、防塵性及び防犯性が高まる。

【００１２】

【実施例】

以下、図面を参照して本発明の一実施例について説明する。

図１～図１８は本発明をプリペイドカード方式のパチンコ機に適用した場合の一実施例を示している。

Ａ．パチンコ装置の正面構成

図１はパチンコ装置の全体を示す正面斜視図である。図１において、１はパチンコ装置であり、大きく分けてパチンコ機２と、遊技媒体貸出装置としてのカード式玉貸機（以下、単に玉貸機という）３によって構成され、これらが対をなして設置される。パチンコ機２とカード式玉貸機３とが対をなして設置されたパチンコ装置１は、いわゆるＣＲ機（カードリーディング機）と称されている。玉貸機３にはカードリーダーが内蔵され、玉貸機３の前面パネル４にはプリペイドカードが挿入されるカード挿入口５と、７セグメントの発光ダイオードを用いて３列で構成され、カードの残り度数を表示するカード残度数表示器６と、発光ダイオード等からなりカードの受け付けが有効であることを表示するカード受付け表示器７とが設けられている。

【００１３】

パチンコ機２は遊技領域を形成する遊技盤１０と、額縁状前面枠１１と、ガラス（透明板）１２ａを保持する金属製のガラス枠（保持枠）１２（ただし、図１ではほとんど見えておらず、詳しくは図２～図７参照）と、ガラス枠１２の前面側に取り付けられる装飾枠ベース盤１３と、装飾枠ベース盤１３の前面側に取り付けられる前面装飾体１４とを有し、この場合装飾枠ベース盤１３の上端縁と下端縁にガラス枠１２よりも外側（上方又は下方）に伸びる延在部（詳しくは図１４～図１８参照）が形成されている。額縁状前面枠１１はパチンコ機２の前面側に開閉可能に備えられ、ほぼ中央に開口部が形成され、開口部を通して遊技盤１０における遊技に供する各種入賞装置等が見えるようになっている。ガラス枠１２は本発明の保持枠に相当し、中央に開口部が形成されている。またここで、本発明の装飾枠は装飾枠ベース盤１３と前面装飾体１４とを含むものである。

【００１４】

また、パチンコ機２は前面側に前面表示パネル１５と、前面操作パネル１６とを有している。ここで、前面表示パネル１５は、後述するように、パネルベース盤１５Ｂとこれに取付けられたパネル装飾体１５Ａとからなり（詳細は図１６参照）、額縁状前面枠１１に対して開閉可能に支持されている。額縁状前面枠１１は木製（樹脂製でもよい）の機枠１７に対して上部蝶番１８および下部蝶番（図示略）によって開閉可能に支持され、ガラス枠１２は額縁状前面枠１１に開閉可能に支持されており、特に本実施例では着脱可能な構成になっている（詳細は後述）。

なお、額縁状前面枠１１の図中左側には縁飾り部１９が設けられており、縁飾り部１９はガラス枠１２と同様に金属製である。縁飾り部１９が設けられた側縁部分には装飾枠ベース盤１３の端縁が延在されておらず、延在部は形成されていない。これは、縁飾り部１９の所まで装飾枠ベース盤１３の端縁を延在させると、ガラス枠１２の開閉が困難になる（例えば、前面装飾体１４が額縁状前面枠１１に衝突する）から、余裕を持たせているため

である。
上記額縁状前面枠１１、機枠１７、前面表示パネル１５と、前面操作パネル１６等の遊技盤１０以外の部分は、全体として遊技機本体２０を構成する。
【００１５】
ここで、前面装飾体１４は遊技領域を囲むようにパチンコ機２の前面側に配置されており、スピーカー３０４を内蔵する外側スピーカーカバー３７１、スピーカー３１４を内蔵する外側スピーカーカバー３７２、上部装飾ランプ中継基盤３０６を内蔵するランプカバー３５１、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４（一部は図示略）、サイド装飾体４０１およびサイド装飾体４０２によって構成される（詳細な構成は後述）。この場合、スピーカー３０４、３１４によってステレオ配置構造の音響装置が構成される。また、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４は遊技領域を取囲むようになっており、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４によって囲まれた遊技盤の領域で遊技が行われる。外側スピーカーカバー３７１、３７２、ランプカバー３５１およびサイド装飾体４０１、４０２はパチンコ機２の前面側にやや突出しているとともに、比較的に大きな形状に形成され、カラフルな色彩が施されている。
【００１６】
前面表示パネル１５には上皿２１と、プリペイドカードの残高を表示するカード度数表示器（カード残高表示器）２２と、玉を購入するときに操作される玉貸釦（変換釦）２３と、プリペイドカードを排出するときに操作されるカード排出釦（返却釦）２４と、玉貸し可能表示器２５と、上皿２１の玉を後述の玉貯留皿３２に移す玉通路開閉用の押し釦２６とが設けられている。
なお、玉貸機３にカードリーダでなく、例えばカードリーダ・ライタを配置し、玉数等の価値情報や遊技客の識別情報が記憶されている遊技用カードを用い、遊技結果をカードに書き込む等のデータ処理が可能なものであってもよい。さらに、遊技用カードはプリペイドカードに限らず、例えば玉数等の価値情報が記憶されいる玉数カード、あるいは遊技客の識別情報が記憶されている識別カード等を単独で使用する遊技機でもよい。
【００１７】
要は、遊技用カードを使用するために、このカード情報を読み込み可能なカードリーダ、若しくは読み込み／書き込み可能なカードリーダ・ライタであればよい。例えば、完全なカード式のパチンコ遊技システムで封入球式の遊技機（例えば、クレジット方式の遊技機）にも本発明を適用することができる。
また、遊技用カードとして磁気カードを用いている例に限らず、例えばＩＣカードを用いる遊技機でもよい。ＩＣカードを用いた場合、当然のことながらカードリーダ若しくはカードリーダ・ライタはＩＣカードに対応するものを使用することになる。
なお、カードリーダとカード制御装置とは別体として分離して配置してもよいし、あるいは両者を一体化してもよく、例えばカードリーダの内部にカード制御装置を組み込むようにしてもよい。
【００１８】
前面操作パネル１６には、灰皿３１と、玉を貯留する玉貯留皿（受皿）３２と、玉貯留皿３２に貯留された玉を外部下方に抜くための玉抜きレバー３３と、発射装置の操作を行う発射操作ノブ３４とが設けられている。
パチンコ機２の額縁状前面枠１１の図中右部には前面枠飾り部材４１が設けられており、前面枠飾り部材４１には樹脂飾り４２、４３と、施錠部４４とが配置されている。樹脂飾り４２、４３はカラフルな色彩の施された縦長形状で樹脂製のもので、額縁状前面枠１１を装飾するものである。なお、樹脂飾り４２、４３の内部にはランプは入っていないが、ランプを内蔵して点滅制御するようにしてもよい。
ガラス枠１２は前面枠１１に開閉可能に支持され、通常は施錠装置によって前面枠１１に対して施錠されている。ガラス枠１２を開く場合には、施錠部４４に所定のキーを挿入して回動操作することにより、施錠装置のロック状態が解除されてオープンする。
なお、前面枠飾り部材４１における樹脂飾り４２、４３は樹脂製であるため、例えば装飾

枠ベース盤１３と一体成形するようにし、本発明の延在部として機能させてもよい。あるいは、前面枠飾り部材４１の部分を全体的に装飾枠ベース盤１３と一体成形し、本発明の延在部として機能させるようにしてもよい。

【００１９】

ここで、遊技盤１０における遊技領域はどのようなものでもよく、遊技球を使用するパチンコ遊技機であれば、任意の構成を取り得る。例えば、いわゆる「第１種」に属するもので、複数の図柄を可変表示可能な表示装置（特別図柄表示装置）を備え、この表示装置における可変表示結果が予め定められた特別図柄で表示されたことを条件に遊技者に有利な特別遊技状態（大当り状態）を発生可能な遊技機でもよい。また、表示装置の図柄内容を変化させてゲームを行うもので、「第３種」に属する遊技機、あるいは表示装置を備えた他の種類の遊技機、いわゆる「第２種」に属する遊技機、又はその他の機種（例えば、他種タイプ）等に幅広く適用が可能である。また、表示装置を備えたていない各種類の遊技機にも適用することができる。本実施例では「第１種」に属するタイプのものを用いている。

【００２０】

Ｂ．装飾枠ベース盤の取り付け構造

次に、装飾枠ベース盤１３の取り付け構造について説明する。図２は装飾枠ベース盤１３の上部側を示す図、図３は装飾枠ベース盤１３の下部側を示す図、図４は装飾枠ベース盤１３の右側部分を示す図である。

（ａ）装飾枠ベース盤１３の上部側の取り付け構造

まず、図２を参照して装飾枠ベース盤１３の上部側の取り付け構造から説明すると、図２に示すように、装飾枠ベース盤１３は後述するように３分割可能であるが、ここでは組み立てる前の状態で示されている。装飾枠ベース盤１３の上部側の裏面にはビスを捩じ込み可能なボス１０１、１０２が形成されている。一方、ガラス枠１２には２枚のガラスの両側縁部を遊嵌させて保持するガラス保持枠１０３、１０４が形成されており、これらのガラス保持枠１０３、１０４に上側からガラスの両側縁部を挿入することで、ガラスがガラス枠１２に取り付けられる。また、ガラス枠１２の上部で裏面側には開口部１０５の周囲に沿って一定長さの折返し縁１０６が形成されている。

【００２１】

折返し縁１０６には装飾枠ベース盤固定部材１０７が嵌合可能になっており、装飾枠ベース盤固定部材１０７は細長い形状で、スリットを構成する係合片１０８、１０９が設けられている。装飾枠ベース盤固定部材１０７は樹脂製であるが、金属製にしてもよい。また、装飾枠ベース盤固定部材１０７の上端部は折返し部１０７ａになっており、折返し部１０７ａと係合片１０８とで構成されるスリット１１１に折返し縁１０６が嵌合し、係合片１０８と係合片１０９とで構成されるスリット１１２に装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１０１、１０２が嵌合可能になっている。

装飾枠ベース盤固定部材１０７の両端下部にはガラス押え部材１１３、１１４が形成されており、ガラス押え部材１１３、１１４はガラスに当接してガラスの振動を防止する機能を有している。また、装飾枠ベース盤固定部材１０７の中央部１０７ｃはＲ形状に形成され、遊技者が遊技盤の遊技領域を見る際に、視覚を妨げないようになっている。

【００２２】

装飾枠ベース盤１３の上部側をガラス枠１２に取り付けるには、まず装飾枠ベース盤固定部材１０７のスリット１１１（折返し部１０７ａと係合片１０８とで構成）にガラス枠１２の折返し縁１０６を挿入するとともに、スリット１１２（係合片１０８と係合片１０９とで構成）に装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１０１、１０２を嵌合させる。次いで、装飾枠ベース盤固定部材１０７の両端に形成されたビス穴１２１ａ、１２１ｂにビス（図示略）を挿入して装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１０１、１０２に捩じ込む。これにより、ガラス枠１２を挟むようにして装飾枠ベース盤１３と装飾枠ベース盤固定部材１０７とが連結され、結局、装飾枠ベース盤１３の上部側をガラス枠１２に取り付けることができる。このとき、ガラス枠１２の折返し縁１０６が装飾枠ベース盤固定部材１０７のス

リット１１１に挿入されているから、頑丈に固定することが可能である。
なお装飾枠ベース盤１３の上端縁は、この場合ガラス枠１２の上端縁より上方に延されて、これにより後述の延在部２５１が形成され、この延在部２５１の裏面には凹凸状の接合面が形成されているが、これらについては後述することとし、図２においてはその詳細な図示を省略する。
【００２３】
（ｂ）装飾枠ベース盤１３の下部側の取り付け構造
次に、図３を参照して装飾枠ベース盤１３の下部側の取り付け構造について説明する。図３に示すように、装飾枠ベース盤１３は後述するように３分割可能であるが、ここでは装飾枠ベース盤１３の下部側が組み立てる前の状態で示されている。装飾枠ベース盤１３の下部側の裏面にはビスを捩じ込み可能なボス１３１、１３２が形成されるとともに、多数のリブ１３３ａ、１３３ｂ、・・・・（他は繁雑になるので、符号付けは省略）が形成されている。
ガラス枠１２の下部側における折返し縁１０６には同様に装飾枠ベース盤固定部材１３４が嵌合可能になっており、装飾枠ベース盤固定部材１３４は細長い形状で、断面コ字状に形成され、ボス１３１、１３２を嵌合可能なスリット１３５を構成するようになっている。なお、装飾枠ベース盤固定部材１３４は樹脂製であるが、金属製にしてもよい。
装飾枠ベース盤固定部材１３４の一部には、装飾枠ベース盤固定部材１３４を装飾枠ベース盤１３と連結した際に、装飾枠ベース盤固定部材１０７がリブ１３３ａに対して当接しないように逃げ用切り欠き１３６が形成されるとともに、ボス１３１、１３２に対する逃げ用切り欠き１３７、１３８が形成されている。逃げ用切り欠き１３７、１３８に対応した装飾枠ベース盤固定部材１３４の部分には、ビスを挿入可能なビス穴が形成されている。
【００２４】
装飾枠ベース盤１３の下部側をガラス枠１２に取り付けるには、まず装飾枠ベース盤固定部材１３４のスリット１３５にガラス枠１２の折返し縁１０６を挿入するとともに、スリット１３５に装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１３１、１３２を嵌合させる。次いで、装飾枠ベース盤１３の逃げ用切り欠き１３７、１３８の部分に形成されたビス穴にビス（図示略）を挿入して装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１３１、１３２に捩じ込む。これにより、ガラス枠１２を挟むようにして装飾枠ベース盤１３と装飾枠ベース盤固定部材１３４とが連結され、結局、装飾枠ベース盤１３の下部側をガラス枠１２に取り付けることができる。このとき、ガラス枠１２の折返し縁１０６が装飾枠ベース盤固定部材１３４のスリット１３５に挿入されているから、頑丈に固定することが可能である。
このようにして、装飾枠ベース盤１３の上部側および下部側が装飾枠ベース盤１３を介してガラス枠１２に固定される。なお、装飾枠ベース盤１３の上部側および下部側をそれぞれ取外すには上記と逆の手順になる。
なお装飾枠ベース盤１３の下端縁は、この場合ガラス枠１２の下端縁より下方に延され、これにより後述の延在部２６１が形成され、この延在部の裏面には凹凸状の接合面が形成されているが、これらについては後述することとし、図３においてはその詳細な図示を省略する。
【００２５】
（ｃ）装飾枠ベース盤１３の右側部分の取り付け構造
次に、図４を参照して装飾枠ベース盤１３の右側部分（遊技機を正面から見た場合に右側に位置する部分のこと、左側部分も同様の意味）の取り付け構造について説明する。図４に示すように、装飾枠ベース盤１３は後述するように３分割可能であるが、ここでは装飾枠ベース盤１３の右側部分が組み立てる前の状態で示されている。装飾枠ベース盤１３の右側部分の裏面にはビスを捩じ込み可能なボス１４１、１４２、１４３が形成されている。
ガラス枠１２の右側部分における折返し縁１０６には同様に装飾枠ベース盤固定部材１４４が嵌合可能になっており、装飾枠ベース盤固定部材１４４は細長い形状で、断面コ字状

に形成され、ボス１４１、１４２、１４３を嵌合可能なスリット１４５を構成するようになっている。なお、装飾枠ベース盤固定部材１４４は樹脂製であるが、金属製にしてもよい。
ガラス枠１２にはボス１４１、１４２、１４３に対する逃げ用切り欠き１５１、１５２、１５３が形成されている。逃げ用切り欠き１５１、１５２、１５３に対応した装飾枠ベース盤固定部材１４４の部分には、ビスを挿入可能なビス穴の形成されたビス係合部１５４、１５５、１５６が設けられている。ビス係合部１５４、１５５、１５６は円筒形で、ボス１４１、１４２、１４３の頭部を収納可能な形状になっている。
【００２６】
装飾枠ベース盤１３の右側部分をガラス枠１２に取り付けるには、まず装飾枠ベース盤固定部材１４４のスリット１４５にガラス枠１２の折返し縁１０６を挿入するとともに、ビス係合部１５４、１５５、１５６に対してそれぞれ装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１４１、１４２、１４３を嵌合させる。次いで、装飾枠ベース盤固定部材１４４のビス係合部１５４、１５５、１５６のビス穴にビスを挿入して装飾枠ベース盤１３の裏面側のボス１４１、１４２、１４３にそれぞれ捩じ込む。これにより、ガラス枠１２を挟むようにして装飾枠ベース盤１３と装飾枠ベース盤固定部材１４４とが連結され、結局、装飾枠ベース盤１３の右側部分をガラス枠１２に取り付けることができる。このとき、ガラス枠１２の折返し縁１０６が装飾枠ベース盤固定部材１４４のスリット１４５に挿入されているから、頑丈に固定することが可能である。
このようにして、装飾枠ベース盤１３の右側部分が装飾枠ベース盤１３を介してガラス枠１２に固定される。なお、装飾枠ベース盤１３を取外すには上記と逆の手順になる。
また、装飾枠ベース盤１３の左側部分の取り付け構造も図示は略すが、同様の構成であり、かつその取り付け方法も同様である。
【００２７】
Ｃ．ガラス枠の取り付け構造
次に、ガラス枠（ガラス枠）１２の取り付け構造について説明する。図５はガラス枠１２が閉じた状態を示す図、図６はガラス枠１２が開いた状態を示す図である。
図５、図６を参照してガラス枠１２の開閉指示構造を説明すると、ガラス枠１２はロ字状の枠形に形成され、その一方の側に開閉機構部１６０が設けられている。開閉機構部１６０はガラス枠１２をパチンコ機２の前面で開閉可能に支持するとともに、ガラス枠１２をパチンコ機２に着脱可能に取り付ける着脱手段１６１を有している。なお、開閉機構部１６０はガラス枠１２に複数（ここでは２つ）設けられており、本実施例では下側の開閉機構部１６０を示し、上側の開閉機構部は図示を略している。２つの開閉機構部によって安定的にガラス枠１２がパチンコ機２（特に、縁飾り部１９）に取り付けられるようになっている。
【００２８】
図７に示すように、着脱手段１６１は着脱機構部１６２と、着脱機構部１６２を操作する操作部（操作手段）１６３とを有している。着脱機構部１６２はガラス枠１２を開閉可能に支持可能な支軸１６４と、ガラス枠１２本体と一体成形され支軸１６４をスライド可能に収納する支軸収納部１６５と、支軸１６４を支軸収納部１６５に収納する方向に付勢するスプリング１６６とを有している。支軸収納部１６５には一部に切り欠き１６５ａが形成され、支軸１６４を上側に引上げる際の邪魔にならないようになっている。
スプリング１６６の一端側は操作部１６３に係合し、他端側はガラス枠１２の本体に固定されている。支軸１６４を持上げるには、操作部１６３を上側に引上げるが、このときスプリング１６６の付勢力に抗して支軸１６４が支軸収納部１６５から上方向に引上げられる。また、逆に操作部１６３から手を離すと、スプリング１６６の付勢力によって支軸１６４が支軸収納部１６５内に収納され、最大限に収納された状態で図示のように長さＬだけ、支軸１６４の先端部が支軸収納部１６５の端から下側に突出する。
【００２９】
開閉機構部１６０の着脱手段１６１は、額縁状前面枠１１の前面側周囲にある枠状の金属

製の縁飾り部１９の一部に対して係合するようになっており、縁飾り部１９には支軸収納部１６５から突出した支軸１６４の先端部を回動可能に支持する支軸支持部１６７が設けられている。支軸支持部１６７は縁飾り部１９に対してほぼ直行するように水平方向に一定長さだけ突出して一体成形で形成されており、支軸支持部１６７には支軸１６４の先端部を支持する先細りに形成されたテーパー状の支持穴１６８が設けられている。また、縁飾り部１９における支軸支持部１６７が設けられている箇所には、切り欠き１６９が形成されている。

【００３０】

ここで、ガラス枠１２を縁飾り部１９に取り付けるときの手順について説明する。なお、開閉機構部１６０の操作は図示しない上側の開閉機構部についても同様である。ただし、上側の開閉機構部の場合、その操作部が固定状態になっている点が異なる。

ガラス枠１２の開閉機構部１６０を縁飾り部１９に取り付けるには、まずガラス枠１２における上側の開閉機構部の支軸の先端部を縁飾り部１９の支軸支持部（こちらは図示略）の所まで移動させ、支軸支持部のテーパー条の支持穴に挿入する。一方、このときほぼ同時のタイミングで、ガラス枠１２における下側の開閉機構部について、その着脱手段１６１における操作部１６３を上側に引上げて、支軸１６４の先端部を支軸収納部１６５内に収納し、このままの状態で支軸収納部１６５を縁飾り部１９の支軸支持部１６７の所まで移動させ、次いで、操作部１６３から手を離して支軸１６４の先端部を支軸支持部１６７のテーパー状の支持穴１６８に挿入する。上下２つの開閉機構部について上記のような手順を実行することにより、開閉機構部１６０が縁飾り部１９に取り付けられる。そして、これにより、ガラス枠１２を縁飾り部１９に開閉可能に固定することができる。

一方、ガラス枠１２の開閉機構部１６０を縁飾り部１９から取り外すには、上記と逆の手順になる。すなわち、最初に着脱手段１６１における操作部１６３を上側に引上げて、支軸１６４の先端部を支軸収納部１６５内に収納し、支軸支持部１６７のテーパー状の支持穴１６８から抜く。次いで、このままの状態で支軸収納部１６５を縁飾り部１９の支軸支持部１６７から離れる方向に移動させる。

また、上側の開閉機構部についても、支軸の先端部をテーパー状の支持穴１６８から抜くという同様の手順を実行することにより、開閉機構部１６０が縁飾り部１９から取り外される。そして、これにより、ガラス枠１２を縁飾り部１９から取り外すことができる。

【００３１】

図５および図６に戻り、縁飾り部１９には着脱手段１６１における操作部１６３に対向する位置に、切り欠き１７１が形成されており、切り欠き１７１はガラス枠１２が閉鎖状態のときに操作部１６３を納めるようになっている。

ガラス枠１２を開くと図６に示すようになって、操作部１６３が切り欠き１７１から逸脱し、自由な開閉を許容する。一方、ガラス枠１２を閉じると図５に示すようになって操作部１６３が切り欠き１７１に納められ、誤って操作部１６３が上側に移動しないようにロックされる。

なお、縁飾り部１９には釘（図示略）を貫通させて縁飾り部１９を額縁状前面枠１１に取り付けるための釘穴１７２、１７３（他は図示略）が形成されている。

【００３２】

Ｄ．装飾枠ベース盤の構造

次に、装飾枠ベース盤１３の構造について説明する。図８は装飾枠ベース盤１３の斜視図（特に、正面側の斜視図）である。図８において、装飾枠ベース盤１３は大きく分けて３つの部分、すなわち第１装飾枠ベース盤１３Ａ、第２装飾枠ベース盤１３Ｂ、第３装飾枠ベース盤１３Ｃに区分（つまり、３分割）され、これらが相互に連結されて組み立てられるようになっている。第１装飾枠ベース盤１３Ａ、第２装飾枠ベース盤１３Ｂ、第３装飾枠ベース盤１３Ｃは何れも樹脂で成形され、各端部にそれぞれ嵌合部が形成されている。第１装飾枠ベース盤１３Ａはパチンコ機２の正面左側上部に配置されるもので、嵌合部２０１、２０２および取り付け部２０３を有している。また、第１装飾枠ベース盤１３Ａは薄い平板状に形成され、遊技領域に対応して内側部分がＲ状に形成されている。第１装飾

枠ベース盤１３Ａには開口縁部装飾体基盤（ただし、第１装飾枠ベース盤１３Ａに対応するものは図示略）を貫通して開口縁部装飾体レンズ（ここでは図示略）を取り付ける付けるためのボス（止着手段）２０４が複数形成されている。なお、ボス２０４は繁雑になるのを避けるため、一部のものにだけ符号を付している。
また、第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０１の部分には３つのボス２０５が形成されるとともに、第２装飾枠ベース盤１３Ｂに対して横方向に突出したＵ字状の２つの位置決め突起２０６が形成されている。なお、位置決め突起２０６は繁雑になるのを避けるため、一部のものにだけ符号を付している。
さらに、第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０２の裏面側には第３装飾枠ベース盤１３Ｃの後述の嵌合部２２２に形成された位置決め突起２２４に係合可能な位置決めボス（図示略）が形成されている。

【００３３】
第２装飾枠ベース盤１３Ｂはパチンコ機２の正面右側上部に配置されるもので、嵌合部２１１、２１２および取り付け部２１３、２１４を有している。また、第２装飾枠ベース盤１３Ｂは薄い平板状に形成され、遊技領域に対応して内側部分がＲ状に形成されている。
第２装飾枠ベース盤１３Ｂには開口縁部装飾体基盤２１５、２１６を貫通して開口縁部装飾体レンズ（ここでは図示略）を取り付けるためのボス（止着手段）２１７が複数形成されている。開口縁部装飾体基盤２１５、２１６にはランプ２１５ａ、２１６ａがそれぞれ配置されており、ランプ２１５ａ、２１６ａは遊技状態に応じ点灯（あるいは点滅）制御される。なお、ボス２１７は繁雑になるのを避けるため、一部のものにだけ符号を付している。
取り付け部２１３は第１装飾枠ベース盤１３Ａの方に突出し、ビス穴の形成された３つの係合突起の形状に形成されている。同様に、取り付け部２１４は第３装飾枠ベース盤１３Ｃの方に突出し、ビス穴の形成された１つの係合突起の形状に形成されている。また、第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２１１の裏面側には第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０１に形成されたＵ字状の２つの位置決め突起２０６に係合可能な位置決めボス（図示略）が形成されている。位置決めボスは円筒形状をなし、この位置決めボスに対してＵ字状の位置決め突起２０６を係合させることで、両者が連結される。
さらに、第２装飾枠ベース盤１３Ｂには第３装飾枠ベース盤１３Ｃの後述の嵌合部２２１に形成されたＵ字状の位置決め突起２２５に係合可能な位置決めボス（図示略）が形成されている。

【００３４】
第３装飾枠ベース盤１３Ｃはパチンコ機２の正面下側に配置されるもので、嵌合部２２１、２２２を有している。また、第３装飾枠ベース盤１３Ｃは薄い平板状に形成され、遊技領域の下部に対応してほぼ細長く形成されるとともに、各端部の内側部分は小径のＲ状に形成されている。第３装飾枠ベース盤１３Ｃには開口縁部装飾体レンズ（図８では図示略）を取り付けるためのボス（止着手段）２２３が複数形成されている。なお、ボス２２３は繁雑になるのを避けるため、一部のものにだけ符号を付している。
また、第３装飾枠ベース盤１３Ｃには第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０２の裏面側に形成された位置決めボス（図示略）に係合可能なＵ字状の位置決め突起２２４が形成されるとともに、第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２１２の裏面側に形成された位置決めボス（図示略）に係合可能なＵ字状の位置決め突起２２５が形成されている。

【００３５】
第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０１にはメスタイプの縦長のスリットが形成され、このスリットに対して第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２１１の裏面側に形成されたオスタイプの凸部（図示略）が嵌合可能になっている。
第１装飾枠ベース盤１３Ａと第２装飾枠ベース盤１３Ｂを組み立てるには、まず第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０１に形成された２つの位置決め突起２０６を第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２２１の裏面側に形成された２つの位置決めボスに係合（位置決めボスに対してＵ字状の位置決め突起をかぶせるような係合状態になる）して位置決めする

とともに、同時に第１装飾枠ベース盤１３Ａのメスタイプの嵌合部２０１に対して第２装飾枠ベース盤１３Ｂのオスタイプの凸部の裏面側に嵌合部２１１を嵌合させる。これにより、双方の位置決めが行われつつ、つながる。次いで、第２装飾枠ベース盤１３Ｂの３つの取り付け部２１３にビスを挿入して第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０１の部分に形成された３つのボス２０５にそれぞれ捩じ込んで固定する。これにより、第１装飾枠ベース盤１３Ａと第２装飾枠ベース盤１３Ｂが組み立てられる。各嵌合部２０１、２１１はスリット状に十分に嵌合するから、堅固に連結することができる。

【００３６】

次に、第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２１にはメスタイプの縦長のスリットが形成され、このスリットに対して第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２１２に形成されたオスタイプの凸部（図示略）が嵌合可能になっている。同様に、第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２２にはメスタイプの縦長のスリットが形成され、このスリットに対して第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０２の裏面側に形成されたオスタイプの凸部（図示略）の裏面側が嵌合可能になっている。

第３装飾枠ベース盤１３Ｃに対して、第１装飾枠ベース盤１３Ａおよび第２装飾枠ベース盤１３Ｂを組み立てるには、まず第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２２に形成された１つのＵ字状の位置決め突起２２４を第１装飾枠ベース盤１３Ａの嵌合部２０２に形成された１つの位置決めボスに係合させて位置決めするとともに、同時に第３装飾枠ベース盤１３Ｃのメスタイプの嵌合部２２２に対して第１装飾枠ベース盤１３Ａのオスタイプの凸部を有する嵌合部２０２を嵌合させる。これにより、双方の位置決めが行われつつ、つながる。次いで、第１装飾枠ベース盤１３Ａの１つの取り付け部２０３にビスを挿入して第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２２の部分に形成された１つのボス２２６に捩じ込んで固定する。これにより、第３装飾枠ベース盤１３Ｃと第１装飾枠ベース盤１３Ａが組み立てられる。各嵌合部２２２、２０２はスリット状に十分に嵌合するから、堅固に連結することができる。

【００３７】

同様に、ほぼ同じタイミングの作業で、第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２１に形成された１つの位置決め突起２２５を第２装飾枠ベース盤１３Ｂの嵌合部２１２の裏面側に形成された１つの位置決めボスに係合させて位置決めするとともに、同時に第３装飾枠ベース盤１３Ｃのメスタイプの嵌合部２２１に対して第２装飾枠ベース盤１３Ｂのオスタイプの凸部の裏面側に嵌合部２１２を嵌合させる。これにより、双方の位置決めが行われつつ、つながる。次いで、第２装飾枠ベース盤１３Ｂの１つの取り付け部２１４にビスを挿入して第３装飾枠ベース盤１３Ｃの嵌合部２２１の部分に形成された１つのボス２２７に捩じ込んで固定する。これにより、第３装飾枠ベース盤１３Ｃと第２装飾枠ベース盤１３Ｂが組み立てられる。各嵌合部２２１、２１２はスリット状に十分に嵌合するから、堅固に連結することができる。

このようにして、３つの第１装飾枠ベース盤１３Ａ、第２装飾枠ベース盤１３Ｂ、第３装飾枠ベース盤１３Ｃが相互に連結されて組み立てられる。そして、組み立てた状態で前述したようにガラス枠１２に固定される。

なお、装飾枠ベース盤１３の上端縁と下端縁は、ガラス枠１２よりも外側に延びて延在部を形成しているがこの詳細については後述する。

【００３８】

Ｅ．開口縁部装飾体レンズの構成

次に、開口縁部装飾体レンズについて説明する。図９は開口縁部装飾体レンズを示す図である。図９において、開口縁部装飾体レンズは大きく分けて４つの部分、すなわち開口縁部装飾体レンズ（装飾カバー体）２３１～２３４に区分（つまり、４分割）されるようになっている。

各開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４は半透明な樹脂製で、レンズの機能を有している。また、各開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４のそれぞれの端部は向い合う端部同士が容易に接続可能なように、段差加工されている。具体的には、一方の端部が凹加工で、向

合う他方の端部が凸加工される。なお、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４には、カラフルな色彩を塗布してもよいし、あるいは半透明で無色に近い色であってもよい。

【００３９】

開口縁部装飾体レンズ２３１は遊技領域の上部中央に配置されるもので、第１装飾枠ベース盤１３Ａに形成されたボス２０４および第２装飾枠ベース盤１３Ｂに形成されたボス２１７にビス止めすることで、固定される。

同様に、開口縁部装飾体レンズ２３２は遊技領域の左側に配置されるもので、第１装飾枠ベース盤１３Ａに形成されたボス２０４にビス止めすることで、固定される。また、開口縁部装飾体レンズ２３３は遊技領域の右側に配置されるもので、第２装飾枠ベース盤１３Ｂに形成されたボス２１７にビス止めすることで、固定される。さらに、開口縁部装飾体レンズ２３４は遊技領域の下側に配置されるもので、第３装飾枠ベース盤１３Ｃに形成されたボス２２３にビス止めすることで、固定される。

なお、各開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４にはビス止め用の小さい穴が形成されているが、図示は略している。ビス止めによる固定に限らず、例えばボスに対して挿入し、ロック可能な構成を有する突起部を開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４の内側に設けるようにしてもよい。そのようにすると、保守・点検の作業性がよい。

ここで、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４にラッキーナンバーの表示をさせるように、半透明の図柄をランプに対応させて点灯可能な構成とし、例えば大当り時にランプを点灯表示させるような図柄変動遊技を行ってもよい。そのようにすると、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４を有効に活用することができる。

【００４０】

開口縁部装飾体レンズ２３３の内部には開口縁部装飾体基盤２１５、２１６が収納され、開口縁部装飾体レンズ２３３は開口縁部装飾体基盤２１５、２１６に配置されたランプ２１５ａ、２１６ａの点灯光をレンズ機能により拡大しつつ透過させる。なお、他の開口縁部装飾体レンズ２３１、２３２についても同様に開口縁部装飾体基盤が内蔵される（図示は略）。一方、開口縁部装飾体レンズ２３４には開口縁部装飾体基盤が内蔵されないが、この部分にも開口縁部装飾体基盤を内蔵するようにしてもよい。そのようにすると、遊技領域の周囲を全て遊技状態に応じて装飾することが可能になる。

【００４１】

ここで、３つの第１装飾枠ベース盤１３Ａ、第２装飾枠ベース盤１３Ｂ、第３装飾枠ベース盤１３Ｃからなる装飾枠ベース盤１３と、開口縁装飾体５０２は全体として遊技領域区分部材５０１を構成する（図８参照）。遊技領域区分部材５０１はガラス枠１２の前面側に備えられ、その装飾枠ベース盤１３によって中央開口部５０３が形成されるとともに、中央開口部５０３の周囲に開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４が設けられる。そして、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４、開口縁部装飾体基盤２１５、２１６（図示は略しているが開口縁部装飾体レンズ２３２に内蔵の開口縁部装飾体基盤も含む）は全体として開口縁装飾体５０２を構成する（図８および図９参照）。

遊技領域区分部材５０１は、弾発された遊技球により遊技盤１０で主要な遊技を行う主要遊技領域（中央開口部５０３を通して視覚的に区分される領域）と、この主要領域以外の領域（中央開口部５０３以外で遊技領域区分部材５０１が配置されている領域）との区分を前方より視認可能にする機能を発揮する。

なお、本実施例では遊技領域区分部材５０１をガラス枠１２の前側に配置することで、主要遊技領域と、主要領域以外の領域との区分を前方より視認可能にしているが、これに限らず、例えば遊技領域区分部材５０１をガラス枠１２の後側に配置して同様の機能を発揮させるようにしてもよい。

【００４２】

Ｆ．電気的装飾部材の構成

次に、装飾枠ベース盤１３Ａ、１３Ｂに配置される電気的装飾部材の構成について説明する。図１０は装飾枠ベース盤１３Ａ、１３Ｂに配置される電気的装飾部材の取り付けの様子を示す図である。図１０において、装飾枠ベース盤１３Ａには後述のスピーカー３０４

を設置するためのほぼ円形のスピーカー設置部３０１が形成され、スピーカー設置部３０１の周囲には円筒形の区画壁３０２が設けられている。区画壁３０２はスピーカー３０４からの放出音が不必要に周囲（例えば、横方向）に洩れないようにするもので、主に前面側にスピーカー３０４からの放出音を出すようする。区画壁３０２の周囲には装飾枠ベース盤１３Ａから突出する一定長さのスピーカー取り付けボス３０３が４つ設けられており（図面では、２つに符号を付し、繁雑になるので、他は符号を略す）、ボス３０３にはビスを捩じ込み可能なねじ溝が形成されている。

【００４３】

スピーカー取り付けボス３０３にはスピーカー３０４を取り付け可能であり、スピーカー３０４はリード線３０５を介して上部装飾ランプ中継基盤３０６に接続されている。上部装飾ランプ中継基盤３０６は各種の装飾ランプとコネクタが配置されるとともに、集中配線を行うフラットケーブル３０７が接続されている。

また、スピーカー３０４の前面側にはスピーカー防護部材３０８および内側スピーカーカバー３０９が順次配置されるようになっている。スピーカー防護部材３０８は金属製のメッシュからなり、内側スピーカーカバー３０９を通して「いたずら」等により細いピン状の部材（例えば、つまようじ）が突っ込まれた場合に、その侵入を阻止してスピーカー３０４が破損する等の不具合の発生を防止するものである。内側スピーカーカバー３０９は樹脂製で、スピーカー防護部材３０８およびスピーカー３０４を全体的に覆って保護する。

スピーカー３０４およびスピーカー防護部材３０８を取り付けるには、まずスピーカー３０４をスピーカー設置部３０１に置き（図１１の状態）、次いで、スピーカー３０４の前面側にスピーカー防護部材３０８を重ね合せ、スピーカー防護部材３０８の４角に形成された４つのビス穴３０８ａにビスを挿入するとともに、このビスをスピーカー３０４の４角に形成された４つのビス穴３０４ａにも通した後、ボス３０３に捩じ込む。これにより、スピーカー３０４の前面側にスピーカー防護部材３０８を重ね合せた状態で両者が装飾枠ベース盤１３Ａに固定される。次いで、内側スピーカーカバー３０９をその上にかぶせる。なお、内側スピーカーカバー３０９にはスピーカー３０４へのリード線３０５を通すためのリード線開口部３０９ａが形成されている。

【００４４】

次に、装飾枠ベース盤１３Ｂにも同様に後述のスピーカー３１４を設置するためのほぼ円形のスピーカー設置部３１１が形成されており、スピーカー設置部３１１の周囲には円筒形の区画壁３１２が設けられている。区画壁３１２はスピーカー３１４からの放出音が不必要に周囲（例えば、横方向）に洩れないようにするもので、主に前面側にスピーカー３１４からの放出音を出すようする。区画壁３１２の周囲には装飾枠ベース盤１３Ｂから突出する一定長さのスピーカー取り付けボス３１３が４つ設けられており（図面では、２つに符号を付し、繁雑になるので、他は符号を略す）、ボス３１３にはビスを捩じ込み可能なねじ溝が形成されている。

【００４５】

スピーカー取り付けボス３１３にはスピーカー３１４を取り付け可能であり、スピーカー３１４はリード線３１５を介して上部装飾ランプ中継基盤３１６に接続されている。また、スピーカー３１４の前面側にはスピーカー防護部材３１８および内側スピーカーカバー３１９が順次配置されるようになっている。スピーカー防護部材３１８は金属製のメッシュからなり、内側スピーカーカバー３１９を通して「いたずら」等により細いピン状の部材（例えば、つまようじ）が突っ込まれた場合に、その侵入を阻止してスピーカー３１４が破損する等の不具合の発生を防止するものである。内側スピーカーカバー３１９は樹脂製で、スピーカー防護部材３１８およびスピーカー３１４を全体的に覆って保護する。

スピーカー３１４およびスピーカー防護部材３１８を取り付けるには、まずスピーカー３１４をスピーカー設置部３１１に置き（図１１の状態）、次いで、スピーカー３１４の前面側にスピーカー防護部材３１８を重ね合せ、スピーカー防護部材３１８の４角に形成された４つのビス穴３１８ａにビスを挿入するとともに、このビスをスピーカー３１４の４

角に形成された４つのビス穴３１４ａにも通した後、ボス３１３に捩じ込む。これにより、スピーカー３１４の前面側にスピーカー防護部材３１８を重ね合せた状態で両者が装飾枠ベース盤１３Ｂに固定される。次いで、内側スピーカーカバー３１９をその上にかぶせる。なお、内側スピーカーカバー３１９にはスピーカー３１４へのリード線３１５を通すためのリード線開口部（図示略）が形成されている。

【００４６】

次に、上部装飾ランプ中継基盤３０６について説明する。

上部装飾ランプ中継基盤３０６は４角に形成された４つのビス穴３０６ａにビスを挿入し、このビスを装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂに各２つずつ形成された取り付けボス３２１、３２２に捩じ込むことにより、装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂに固定される。上部装飾ランプ中継基盤３０６上には複数の装飾ランプ３４１が配置され、これらの装飾ランプ３４１は遊技状態に応じて点灯（あるいは点滅）制御される。具体的には、大当り発生時、貸玉排出時、パチンコ機２において打止状態の発生時等に点灯するように装飾ランプ３４１の制御が行われる。

また、上部装飾ランプ中継基盤３０６上には複数のコネクタ３４２、３４３、３４４が配置され、上側に配置された２つのコネクタ３４２、３４３は装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂに配置される後述のサイド装飾体からの配線を中継するためのものであり、下側に配置された４つのコネクタ３４４は装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂの内側周囲に配置された開口縁部装飾体基盤２１５、２１６（その他の開口縁部装飾体基盤は図示略につき、符号は無い）からの配線を中継するためのものである。

【００４７】

上部装飾ランプ中継基盤３０６はランプカバー３５１によって覆われるようになっており、ランプカバー３５１は横方向に長い形状に形成されるとともに、膨出状に形成されている。ランプカバー３５１は半透明で、上部装飾ランプ中継基盤３０６に配置された複数の装飾ランプ３４１の点灯光を透過可能である。ランプカバー３５１は端部に形成されたワンタッチ用の２つの取り付け片３５２を装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂに形成された２つの取り付け穴３５３にそれぞれ挿入することにより、装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂにワンタッチで取り付けられる。この場合、ランプカバー３５１の取り付け片３５２は小さく弾力性があって取り付け穴３５３にロック可能な形状に形成されており、取り付け片３５２が取り付け穴３５３に挿入されると、弾力によりワンタッチでロックされる。また、ランプカバー３５１の側部には配線３０５、３１５等（その他の配線も含む）を通過させるための配線用スリット３５１ａ（他方の配線用スリットは図示略）が形成されており、上部装飾ランプ中継基盤３０６をランプカバー３５１で覆ったときに各スピーカー３０４、３１４に接続される配線３０５、３１５がランプカバー３５１によって押し付けられないようになっている。

装飾枠ベース盤１３Ａには配線用開口部３６１が形成されており、配線用開口部３６１は上部装飾ランプ中継基盤３０６のコネクタに接続された集中配線のためのフラットケーブル３０７を通過させて装飾枠ベース盤１３Ａの裏側に引出すようになっている。これにより、装飾枠ベース盤１３に配置される各種電気部品の配線をまとめてパチンコ機２の本体（いわゆる枠）側に中継することが行われる。

【００４８】

図１１はスピーカー３０４、スピーカー３１４および上部装飾ランプ中継基盤３０６を装飾枠ベース盤１３Ａ、装飾枠ベース盤１３Ｂ上に配置するとともに、配線用開口部３６１にフラットケーブル３０７を通過させた状態を示している。

ここで、各スピーカー３０４、スピーカー３１４からの配線３０５、３１５は装飾枠ベース盤１３Ａ、１３Ｂに形成された配線用固定片３６５、３６６によって固定されるようになっている。

また、図１２はスピーカー３０４、３１４および上部装飾ランプ中継基盤３０６がランプカバー３５１および外側スピーカーカバー３７１、３７２によってそれぞれ覆われる様子を示している。外側スピーカーカバー３７１、３７２は樹脂製で、内側スピーカーカバー

３０９、スピーカー防護部材３０８およびスピーカー３０４を順次全体的に覆って保護するものである。外側スピーカーカバー３７１、３７２にはそれぞれスピーカー３０４、３１４へのリード線３０５、３１５を通すためのリード線開口部３７１ａ（他方は図示略）が形成されている。

【００４９】

再び図１０に戻り、スピーカー設置部３０１、３１１の下方にはサイド装飾体取り付け部３８１、３８２が形成されており、サイド装飾体取り付け部３８１、３８２は一定長さに延在し周囲を取り囲むように形成された複数の壁３８３、３８４をそれぞれ有している。ここで、図１３を参照して一方のサイド装飾体取り付け部３８１について詳細に説明する。図１３において、サイド装飾体取り付け部３８１は三角形状に近似した形状を有しており、複数の壁３８３によって区画される内側にはＬＥＤ３８５、３８６を搭載した基盤３８７がビスによって固定されるようになっている。すなわち、基盤３８７に形成されたビス穴３８７ａにビスを通してサイド装飾体取り付け部３８１に形成されたボス３８８に捩じ込むことにより、基盤３８７が固定される。基盤３８７はレンズ機能を有する半透明な樹脂製の内カバー３８９によって覆われるようになっているとともに、内カバー３８９はさらに樹脂製の外カバー３９０によって覆われるようになっている。外カバー３９０には内カバー３８９の前面側がそのまま臨むような前面開口部３９１が形成されている。また、外カバー３９０および内カバー３８９にはそれぞれ取り付けのためのビス穴３９０ａ、３８９ａが形成されている。

【００５０】

外カバー３９０および内カバー３８９をサイド装飾体取り付け部３８１に取り付けるには、まず外カバー３９０および内カバー３８９を重ねるとともに、各カバーに形成されたビス穴３９０ａ、３８９ａにビスを通してサイド装飾体取り付け部３８１に設けられたボス３９２に捩じ込む。これにより、基盤３８７を内蔵する状態で外カバー３９０および内カバー３８９を順次外側から重ね合せた状態で両者が装飾枠ベース盤１３Ａに固定される。なお、基盤３８７のリード線３１５を通すために、外カバー３９０および内カバー３８９にはそれぞれリード線開口部３９０ｂ、３８９ｂが形成されている。

また、形状の大きい外カバー３９０は強固に装飾枠ベース盤１３Ａに固定するようになっており、外カバー３９０の外側に形成された取り付け部３９３にビスを通してサイド装飾体取り付け部３８１の外側に設けられたボス３９４に捩じ込むことにより、外カバー３９０が装飾枠ベース盤１３Ａに堅固に固定される。

【００５１】

ここで、基盤３８７に配置されたＬＥＤ３８５、３８６はパチンコ機２の枠側の情報を表示し、例えばガラス枠１２が開放したときに点灯する開放表示、賞球排出時に点灯する賞球玉排出表示、島設備から玉の補給が行われるときに点灯する補給表示等を行う場合に点灯する。なお、これら以外の情報を表示するようにしてもよい。

上記ＬＥＤ３８５、３８６、基盤３８７、内カバー３８９および外カバー３９０は全体としてサイド装飾体４０１を構成する。なお、パチンコ機２の右側にはサイド装飾体４０２が配置（図１参照）されている。

さらに、この図１３に示すように、外側スピーカーカバー３７１（他方の、外側スピーカーカバー３７２も同様）の外側には取り付け部３９５が形成されており、この取り付け部３９５にビスを通してサイド装飾体取り付け部３８１の外側に設けられたボス３９６に捩じ込むことにより、外側スピーカーカバー３７１が装飾枠ベース盤１３Ａに堅固に固定される。

上記装飾枠ベース盤１３に配置される各種の電気部品、および上部装飾ランプ中継基盤３０６を内蔵するランプカバー３５１、開口縁部装飾体レンズ２３１～２３４、左右のサイド装飾体４０１、サイド装飾体４０２は電気的表示手段を構成する。そして、電気的表示手段および装飾カバー体は全体として装飾手段６００を構成し、この装飾手段６００と装飾枠ベース盤１３とが本発明の装飾枠７００を構成する（図１０）。なお、装飾枠ベース盤のみを狭義の意味の装飾枠と称することもあるが、本発明における装飾枠は、このよう

に装飾手段（装飾体）を含む広義の装飾枠を意味する。
【００５２】
Ｇ．装飾枠ベース盤の上端縁，下端縁及びその接合構造
次に、図１４乃至図１８により、装飾枠ベース盤１３の上端縁，下端縁及びその接合構造について説明する。図１４は本実施例の遊技機を側面から見た図であり、図１５は装飾枠ベース盤１３の上端縁の接合構造を示す斜視図（ガラス枠１２等を開いた状態を示す図）、図１６は装飾枠ベース盤１３の下端縁の接合構造を示す斜視図、図１７は装飾枠ベース盤１３の上端縁の接合構造を示す断面図、図１８は装飾枠ベース盤１３の下端縁の接合構造を示す断面図である。なお、図１７は図１４において符合Ｘで示す部分の断面拡大図であり、図１８は図１６において符合Ｙで示す部分の断面拡大図である。
【００５３】
この場合装飾枠ベース盤１３の上端縁は、図１４及び図１５に示すように、ガラス枠１２の上端よりも上方に延びて延在部２５１を形成している。この延在部２５１の裏面は、装飾枠ベース盤１３を取付けたガラス枠１２を閉じたときに、額縁状前面枠１１の上端部に取付けられたスペーサ２５２に接合し、ガラス枠１２の上端の隙間を覆うよう構成されている。また、この延在部２５１の裏面（接合面）とスペーサ２５２の表面（接合面）には、相互に噛み合う凹凸部２５３，２５４が形成され、ガラス枠１２及び装飾枠ベース盤１３を閉じたときにこれらが図１７の如く凹凸状に噛み合って接合し、その接合隙間が入組んだ状態になるよう構成されている。またこの場合、凹凸部２５３，２５４を構成する段部表面は傾斜した形状とされ、ガラス枠１２を閉めるときにガイド（案内）として機能し、凹凸部２５３，２５４が円滑に噛み合って接合するようになっている。
【００５４】
そして、この装飾枠ベース盤１３の上端側の延在部２５１の表面は、前述したように装飾手段６００の一部（例えば、上部装飾ランプ中継基盤３０６やランプカバー３５１等）の配置スペースとして機能し、装飾効果の向上に貢献している。
なお、この場合凹凸部２５３，２５４は、装飾枠ベース盤１３の延在部２５１又はスペーサ２５２の接合面における両側２箇所の位置にそれぞれ断続的に設けられているが、一連のものとして連続的に形成してもよい。また、これら凹凸部２５３，２５４を相互に弾力的に係合するものとし、接合状態においてロック（引離すのにある程度の力を要する状態になること）される構成とすることもできる。
【００５５】
一方装飾枠ベース盤１３の下端縁も、図１４及び図１６に示すように、ガラス枠１２の下端よりも下方に延びて延在部２６１を形成している。この延在部２６１の裏面は、図１８に示すように、前面表示パネル１５のパネル装飾体１５Ａの上端縁２６２と重合（重なり合って接合すること）するように凹んでおり、装飾枠ベース盤１３を取付けたガラス枠１２を閉じたときに、パネル装飾体１５Ａの上端縁２６２に重合し、ガラス枠１２の下端の隙間を覆うよう構成されている。また、この延在部２６１の裏面（接合面）とパネル装飾体１５Ａの上端縁２６２の表面（接合面）には、相互に噛み合う断面３角形状の凹凸部２６３，２６４が形成され、ガラス枠１２及び装飾枠ベース盤１３を閉じたときにこれらが図１８の如く円滑に噛み合って接合し、その接合隙間が入組んだ状態になるよう構成されている。
【００５６】
そして、この装飾枠ベース盤１３の下端側の延在部２６１の表面（前面）は、前面表示パネル１５のパネル装飾体１５Ａの表面（前面）とデザイン上一体的な装飾を施され、装飾効果の向上に貢献している。ここで、一体的な装飾とは、同一色，同一柄が施されているような単純な場合以外に、相互にデザインが関連する場合、あるいは統一性がある場合等を広く含む。
なお、ここでパネル装飾体１５Ａは、樹脂よりなり、パネルベース盤１５Ｂの表面に取付けられた装飾体で、パネルベース盤１５Ｂとともに前面表示パネル１５を構成している。
【００５７】

またこの場合、パネルベース盤１５Ｂの上端とガラス枠１２の下端は、ガラス枠１２を閉じたときに、突き合わせ状態に接合することになるが、パネルベース盤１５Ｂの上端奥側には、図１８の如く断面コの字形に立上がる立上がり部２６５が形成され、この立上がり部２６５がガラス枠１２の下端縁折返し部２６６を囲むように配置されることで、パネルベース盤１５Ｂの上端とガラス枠１２下端の隙間が機内に向って入組んだ状態になるように構成されている。またなお、前面表示パネル１５は通常開閉自在に設けられるが、本実施例の場合、装飾枠ベース盤１３とともにガラス枠１２を開けた後、前面表示パネル１５を開けるようにし、あるいは前面表示パネル１５を先に閉じた後に、ガラス枠１２を閉じるようにすれば開閉動作に支障（干渉）は生じない。

【００５８】

以上のように本実施例では、ガラス枠１２の前面側を覆う状態で装飾枠ベース盤１３が備えられ、この装飾枠ベース盤１３の上に膨出状に形成された装飾カバー体（例えば、ランプカバー３５１）と、装飾カバー体の内部に配置された電気部品（例えば、上部装飾ランプ中継基盤３０６）とを有する装飾手段６００が配置される。そして、装飾枠ベース盤１３の上端縁と下端縁とがガラス枠１２よりも外側に延びてそれぞれ延在部２５１，２６１を形成し、この延在部２５１，２６１の裏側接合面形状が凹凸状となっている。しかも、装飾枠ベース盤１３の下端側の延在部２６１は、前面表示パネル１５と重合するよう構成され、これら表面には一体的な装飾が施されている。したがって、以下の効果を得ることができる。

（１）ガラス枠１２の前面側に装飾体（例えば、電気的装飾部材で装飾枠ベース盤１３に配置される各種の電気部品）を備えることにより、金属製のガラス枠１２を覆うことができ、遊技機（パチンコ機２のこと、以下、同様）自体の装飾性を向上させることができる。

（２）しかも、装飾枠ベース盤１３に延在部２５１，２６１が形成されていることにより、装飾体の配置スペースを広く確保でき、複数のあるいは大型の各種装飾体を多数配置することが可能になるとともに、装飾体の配置自由度が増すので、さらに装飾性向上が可能となる。

（３）特に下端側の延在部２６１は、表面に前面表示パネル１５と一体的な装飾が施されているので、それぞれが回動する部材であるにもかかわらず、全体として斬新で高級感のあるデザインとすることができる。また、この延在部２６１は前面表示パネル１５と重合する構成とされているので、前面表示パネル１５と装飾枠１３又はガラス枠１２との接合部の隙間が遊技機正面側から目立たなくなり、この点でも装飾性が向上する。

（４）またこの延在部２５１，２６１によりガラス枠１２の端縁の隙間が覆われて、ゴミやホコリの侵入が抑制され、ピアノ線等の挿入が困難となるから、防塵性及び防犯性が高まる。なお、ガラス枠は従来同様金属製のままとすることができるので、従来どおりの防犯性及び強度は維持された上で、上記ガラス枠端縁の隙間が覆われたことで、さらに防犯性等が向上する。しかも、延在部２５１，２６１の裏側接合面形状が凹凸状とされ、特に下端側の延在部２６１においては重合構造とされているので、裏側接合部の隙間が入組んだ状態となり、装飾枠ベース盤１３の端の隙間からピアノ線等を挿入し、延在部２５１，２６１の裏面を経由してガラス枠端縁の隙間に差込むことがさらに困難になるから、この点でもさらに防犯性や防塵性が高まる。また、延在部２５１，２６１の裏側接合面形状が凹凸状とされているため、ガラス枠１２を装飾枠ベース盤１３とともに強固に閉じることができるという効果もある。

（５）また、ガラス枠１２は一側縁（縁飾り部１９が取付けられた部分）において回転自在に支持されて開閉可能とされているとともに、前記延在部２５１，２６１がこの一側縁を除く他の端縁（この場合上端縁と下端縁）に形成されているから、部材の干渉をさけて支障なくガラス枠１２を開閉することが可能となり、遊技領域の不調等（例えば玉詰り）を容易に解消できる。

（６）装飾枠ベース盤１３に取付けた装飾カバー体（例えば、ランプカバー３５１）を膨出状に形成することにより、遊技機前面側で立体的な装飾効果を得ることができる。特に

、遊技者の近くで装飾を行うので、斬新な装飾（例えば、インパクトのある装飾）が可能になる。
（７）ガラス枠１２の前面側に装飾枠ベース盤１３を備える構成であるので、金属製のガラス枠１２に直接に電気的装飾部材を取り付ける場合より、簡単に装飾体（すなわち、前述した電気的装飾部材）を取り付けることが可能になり、また、配線処理も容易に行うことができる。
【００５９】
（８）従来のガラス枠（金属製）と同じ構成のガラス枠１２の前面側に装飾枠ベース盤１３を介して装飾手段６００を配置しているので、装飾性を高めるために装飾手段６００だけを開発すればよく、装飾性の向上が容易に得られる。また、従来機（従来の遊技機のこと）との互換性という点で、有利である。すなわち、従来の遊技機のガラス枠の上に装飾枠ベース盤１３と装飾手段６００を配置するだけで、簡単に装飾性を高められ、装飾体を簡単に交換することが可能である。
【００６０】
（９）装飾手段６００が電気的表示手段および音出力手段によって構成されるので、多種類の装飾を行うことが可能になり、遊技状態などを表示する場合に極めて効果的な装飾を行うことができる。
（１０）ガラス枠１２前面側の装飾枠ベース盤１３の開口縁部（中央開口部５０３の周囲）を開口縁装飾体５０２を備えて装飾することにより、遊技領域を囲むように装飾することができ、従来にない斬新な装飾効果を得ることができる。
（１１）装飾枠ベース盤１３上に音出力手段（３０４、３１４）を備えることにより、遊技者に的確に音（音声および効果音等を含む）による装飾効果を与えることができる。
（１２）装飾手段６００における電気的表示手段では、パイロットランプ（上部装飾ランプ中継基盤３０６、ランプ３４１およびランプカバー３５１）を中央にしてその両側にスピーカー３０４、３１４を配置することにより、表示と音とをミックスした装飾を行うことが可能になる。
また、左右のスピーカー３０４、３１４によりステレオ音響効果を得ることができる。
（１３）装飾枠ベース盤１３上に上部装飾ランプ中継基盤３０６を備えることにより、配線作業を効率良く行うことができる。
（１４）装飾枠ベース盤１３上に配線用開口部（配線処理手段）３６１および配線用固定片（配線処理手段）３６５、３６６を備えることにより、整然とした配線処理を行うことが可能になる。
（１５）装飾枠ベース盤１３を３つの部分、すなわち第１装飾枠ベース盤１３Ａ、第２装飾枠ベース盤１３Ｂ、第３装飾枠ベース盤１３Ｃに分割構成にすることにより、装飾枠ベース盤１３自体の形状が小型になり、成形しやすくなる。また、装飾枠ベース盤１３を複雑な構造にすることが可能になる。その結果、装飾効果を高めることができる。
【００６１】
なお、本発明は上記実施例の態様に限られず、各種の変形，応用があり得る。例えば、装飾枠を構成する装飾手段６００のうちのいずれかの部材（例えば、ランプカバー３５１）にガラス枠１２よりも外側に延びる本発明の延在部が形成されていてもよい。また、装飾枠の右側側縁（前面枠飾り部材４１のある側）に延在部を形成してもよい。さらに、延在部の裏面は額縁状前面枠１１の表面に直接接合する構成でもよい。また、上記実施例において、装飾枠ベース盤１３の上端縁が接合するスペーサ２５２は、額縁状前面枠１１と一体に成形されていてもよい。
また、玉貸機の配置場所は上記例に限るものではない。例えば、前面パネルの部分や皿前装飾体の部分に設けるようにしてパチンコ機と一体にしてもよい。
また、本発明はカードリーダを備えていないパチンコ機にも適用できるのは勿論である。本発明に係わる遊技機は上記実施例のようなプリペイドカード方式のパチンコ機に適用する例に限らない。例えば、クレジット方式のパチンコ機にも適用することができる。遊技盤の構成、機種はどのようなものでもよい。

プリペイドカード方式でなく、全くカードを使用しないパチンコ機についても幅広く適用することが可能である。また、アレンジボール機にも適用することができる。

【００６２】

【発明の効果】

本発明によれば、保持枠とパネルベース盤とが備えられ、保持枠（以下、ガラス枠という）の前面側に合成樹脂製で取り付けベース盤、縁部装飾体および電気的表示手段を有する装飾枠が配設され、この装飾枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁に、保持枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁よりも外側に延在させた延在部を形成し、前面枠には開閉機構部とスペーサーを備え、延在部の裏面とスペーサーの表面との接合面には、相互に噛み合う凹凸部が形成され、スペーサーの凹凸部を構成する段部表面を、傾斜した形状とすることで保持枠を閉めるときのガイドを形成し、パネルベース盤にはパネル装飾体を配設し、延在部の裏面とパネル装飾体の表面との接合面には、相互に噛み合う断面三角形状の凹凸部を形成し、開閉機構部には着脱手段を備え、着脱手段は着脱機構部と操作部とを備え、保持枠を閉じると操作部が切り欠きに納められ、該操作部が移動しないようにロックされるので、以下の効果を得ることができる。

（１）ガラス枠の前面側に装飾体（例えば、電気的装飾部材で装飾枠に配設される各種の電気部品）を備えることにより、金属製のガラス枠を覆うことができ、遊技機自体の装飾性を向上させることができる。特に、遊技者の近くで装飾を行うので、斬新な装飾が可能になる。

（２）しかも、装飾枠にガラス枠の上側部分、右側部分又は下側部分の何れかの端縁よりも外側に延びる延在部が形成されていることにより、装飾体の配置スペースを広く確保でき、複数のあるいは大型の各種装飾体を多数配置することが可能になるとともに、装飾体の配置自由度が増すので、さらに装飾性向上が可能となる。

（３）またこの延在部によりガラス枠の端縁の隙間が覆われて、ゴミやホコリの侵入が抑制され、ピアノ線等の挿入が困難となるから、防塵性及び防犯性が高まる。なお、ガラス枠は従来同様金属製のままとすることができるので、従来どおりの防犯性及び強度は維持された上で、上記ガラス枠端縁の隙間が覆われたことで、さらに防犯性等が向上する。しかも、延在部の裏側接合面形状が凹凸状とされた場合には、裏側接合部の隙間が入組んだ状態となり、装飾枠の端の隙間からピアノ線等を挿入し、延在部の裏面を経由してガラス枠端縁の隙間に差込むことがさらに困難になるから、この点でもさらに防犯性や防塵性が高まるとともに、ガラス枠を装飾枠とともに強固に閉じることができるという効果もある。

（４）ガラス枠の前面側に合成樹脂製の装飾枠を備える構成であるので、金属製のガラス枠に直接に電気的装飾部材を取り付ける場合より、簡単に装飾体（すなわち、前述した電気的装飾部材）を取り付けることが可能になり、また、配線処理も容易に行うことができる。

【００６３】

（５）従来のガラス枠と同じ構成のガラス枠の前面側に装飾枠を配置できるので、装飾性を高めるために装飾手段だけを開発すればよく、装飾性の向上が容易に得られる。また、従来機（従来の遊技機のこと）との互換性という点で、有利である。すなわち、従来の遊技機のガラス枠の上に装飾枠を配置するだけで、簡単に装飾性を高められ、装飾体を簡単に交換することが可能である。

（６）装飾体（すなわち、前述した電気的装飾部材）を変える場合には、装飾枠を取り外すだけでユニット的に交換することができ、作業性がよいという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明を適用したパチンコ装置の一実施例の全体を示す正面斜視図である。

【図２】同実施例の装飾枠ベース盤の上部側を示す図である。

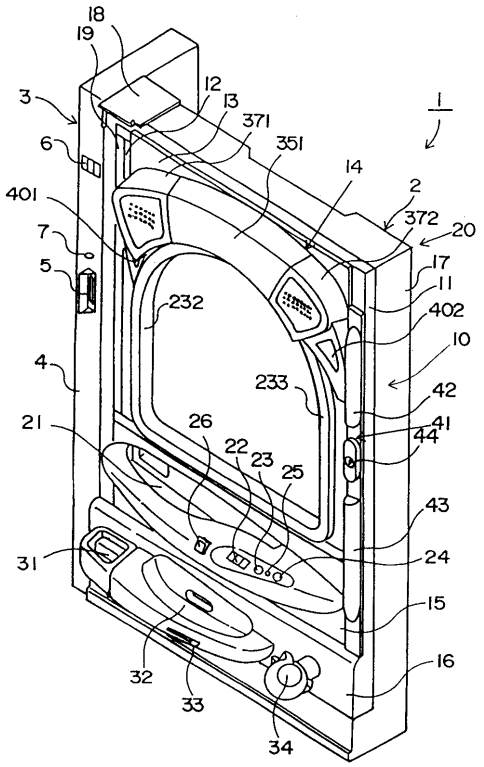
【図３】同実施例の装飾枠ベース盤の下部側を示す図である。

【図４】同実施例の装飾枠ベース盤の右側部分を示す図である。

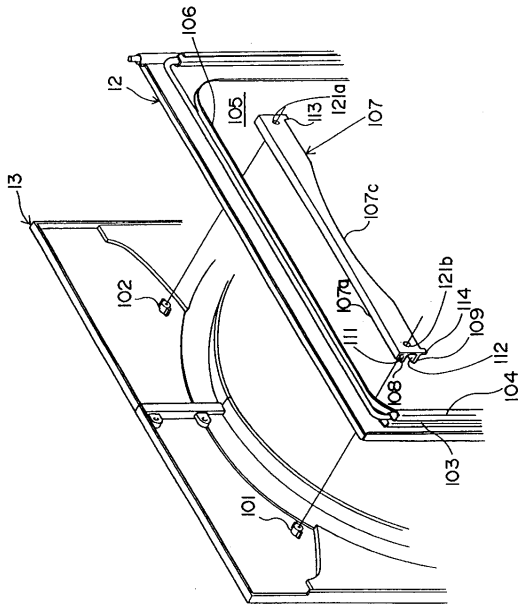
【図５】同実施例のガラス枠が閉じた状態を示す図である。

【図６】同実施例のガラス枠が開いた状態を示す図である。
【図７】同実施例のガラス枠の着脱手段の要部を示す図である。
【図８】同実施例の装飾枠ベース盤の斜視図である。
【図９】同実施例の開口縁部装飾体レンズを示す図である。
【図１０】同実施例の装飾枠ベース盤に配置される電気的装飾部材の取り付けの様子を示す図である。
【図１１】同実施例の装飾枠ベース盤に配置されるスピーカーおよび上部装飾ランプ中継基盤の様子を示す図である。
【図１２】同実施例の装飾枠ベース盤に配置される電気的装飾部材の取り付け手順を説明するための図である。
【図１３】同実施例のサイド装飾体を示す図である。
【図１４】同実施例のパチンコ装置全体を示す側面図である。
【図１５】同実施例の装飾枠の上端縁の構造（接合構造）を示す斜視図である。
【図１６】同実施例の装飾枠の下端縁の構造（接合構造）を示す斜視図である。
【図１７】同実施例の装飾枠の上端縁の接合構造を示す断面図である。
【図１８】同実施例の装飾枠の下端縁の接合構造を示す断面図である。
【符号の説明】
１　パチンコ装置
２　パチンコ機
１１　額縁状前面枠
１２　ガラス枠（保持枠）
１３　装飾枠ベース盤
１３Ａ　第１装飾枠ベース盤
１３Ｂ　第２装飾枠ベース盤
１３Ｃ　第３装飾枠ベース盤
１４　前面装飾体
２５１，２６１　延在部
６００　装飾手段
７００　装飾枠

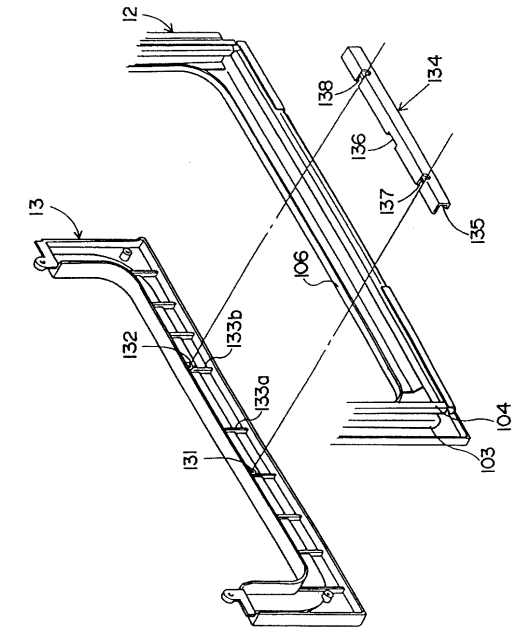
【図１】


18
19
3
12
13
371
351
1
6
14
2
401
372
20
7
17
5
11
232
402
10
4
233
42
21
26
41
22
23
44
25
43
31
24
15
32
16
33
34

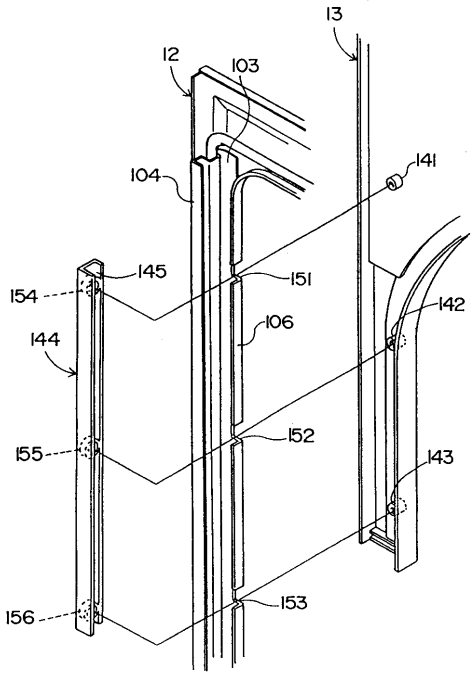
【図２】


106
12
105
113
121a
107
13
107c
102
107a
121b
114
109
111
112
108
104
103
101

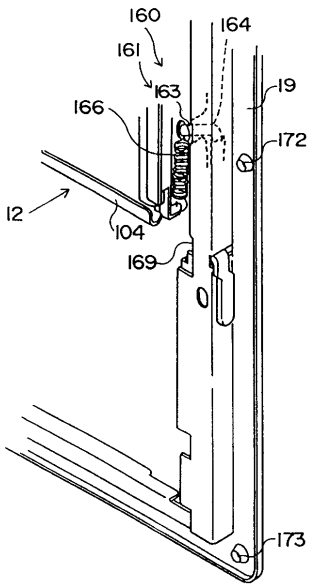
【図３】


12
138
134
136
137
135
13
106
132
133b
133a
104
131
103

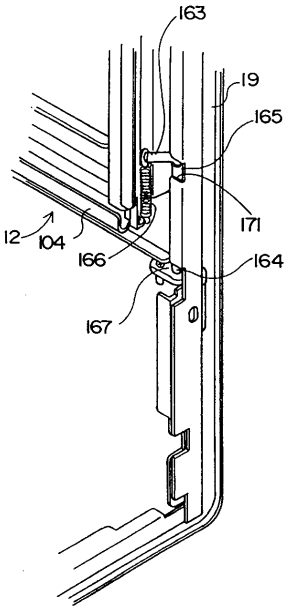
【図４】


13
12
103
104
141
145
151
154
142
144
106
152
155
143
153
156

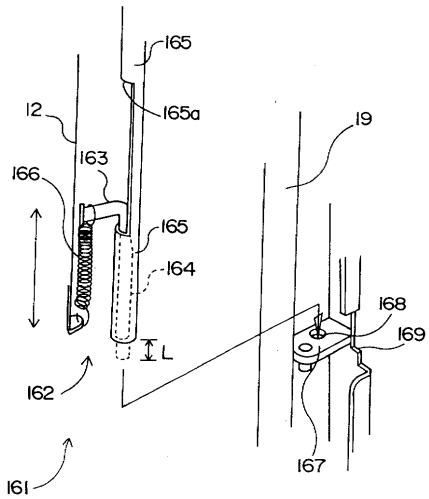
【図５】


160
161
163
164
166
19
172
12
104
169
173

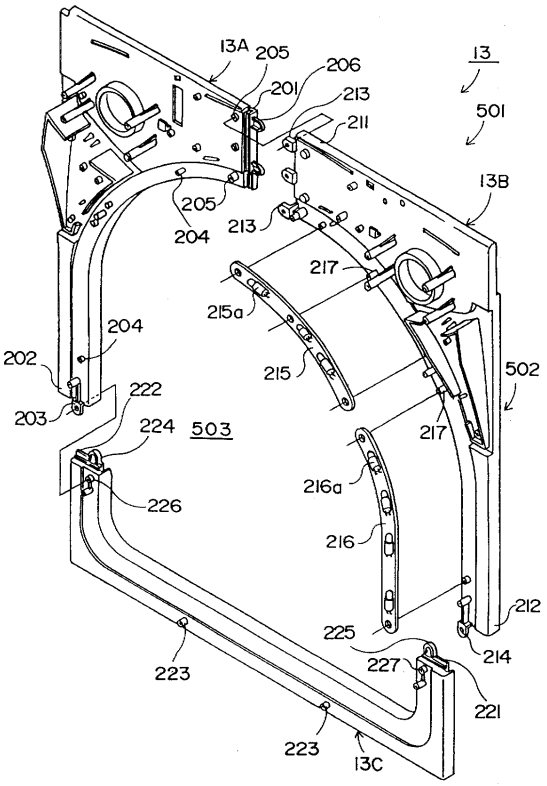
【図６】


163
19
165
171
12
104
166
164
167

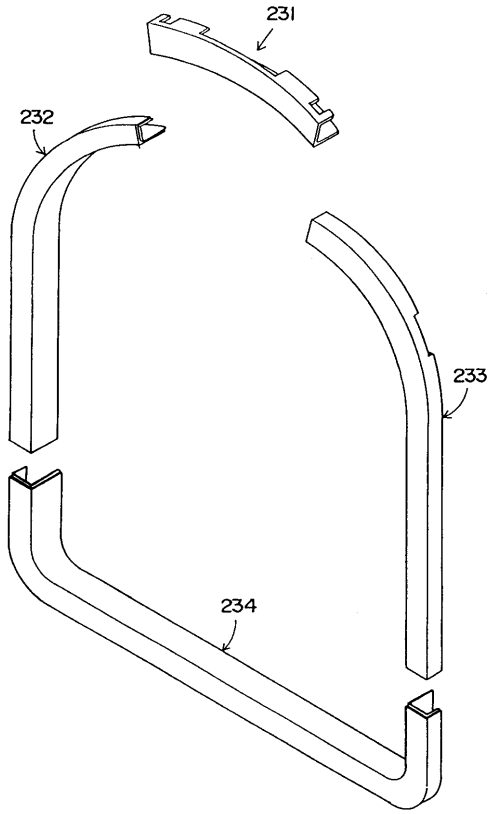
【図７】


165
12
165a
19
163
166
165
164
168
169
L
162
167
161

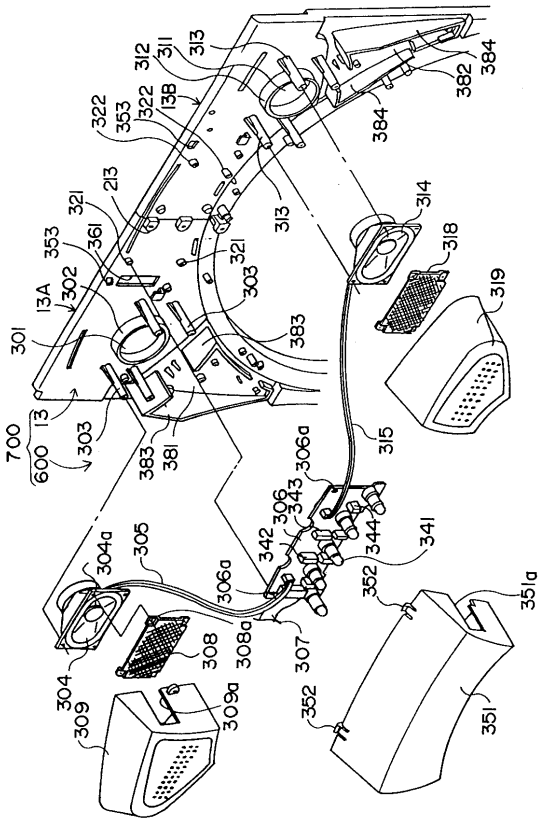
【図８】


13A
205
206
201
213
211
13
501
13B
205
213
204
217
215a
204
202
215
502
222
203
224
503
217
216a
226
216
212
225
214
227
221
223
223
13C

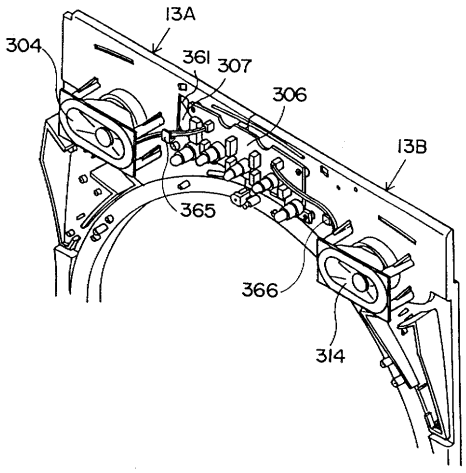
【図９】



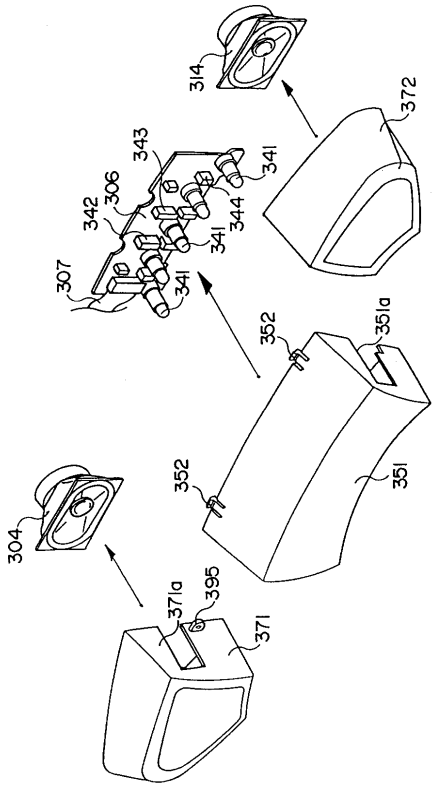

【図１０】



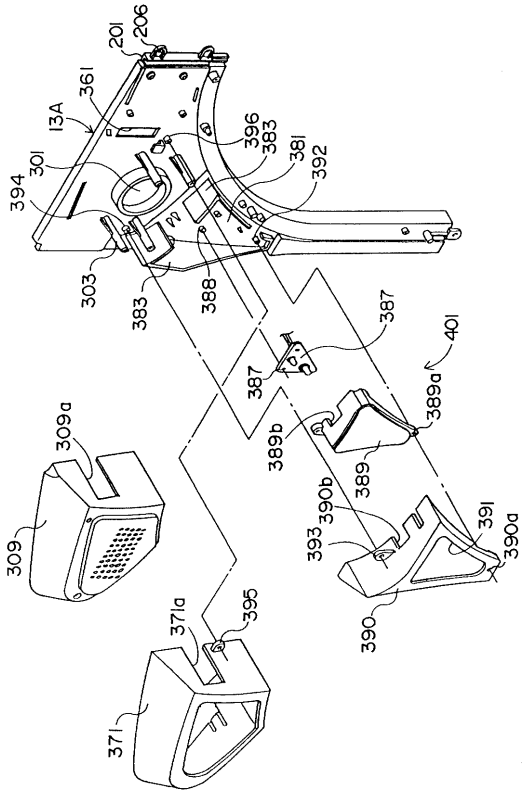

【図１１】



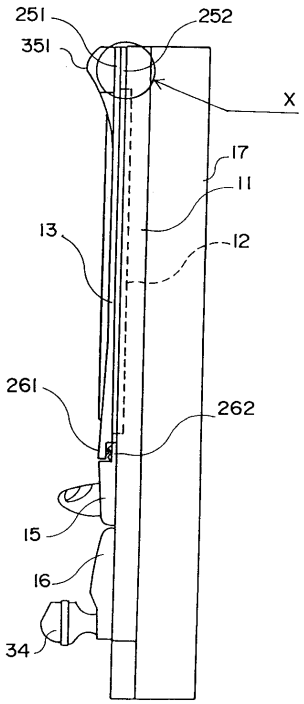

【図１２】



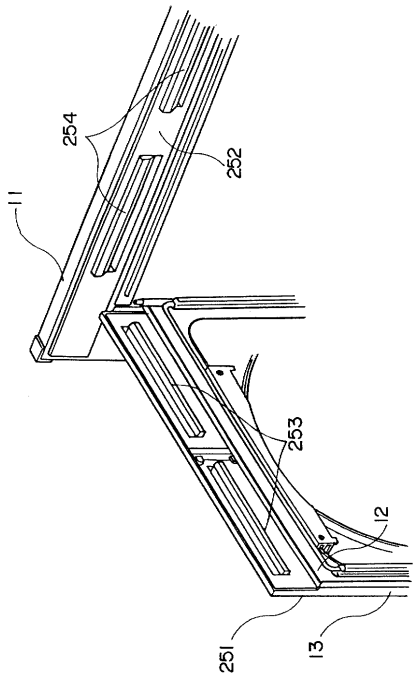
【図１３】



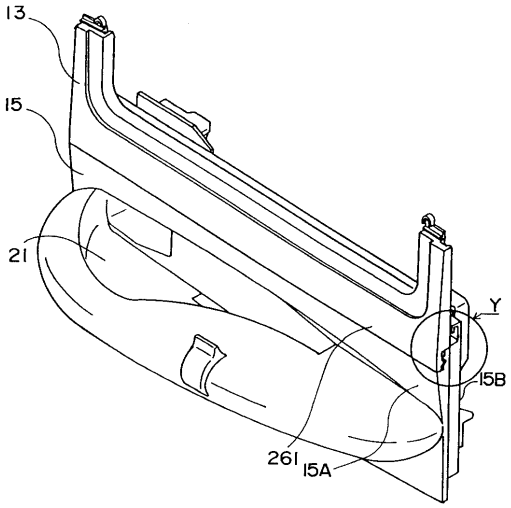

【図１４】



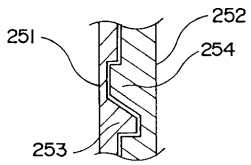

【図１５】



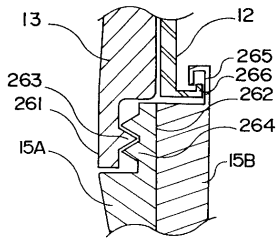

【図１６】



【図１７】




【図１８】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.[7], ＤＢ名)
A63F 7/02